

大切な人の命を守ろう <http://smart-survivor.org> ～スマートサバイバープロジェクト (SSPJ) の挑戦



2011年3月11日。あの日、「想定外」のことが起きた時、私たちは無力でした。

今、45億年以上生き続ける地球は、その活動をダイナミックにする周期を迎えたと言われています。これからは、人間の「想定」や「予測」などはるかに超えた、過去に例を見ない「想定外」の事態が起こることもあるかもしれません。

必ず来る「想定外」を、大切な人と生き抜くために。

でも、私たちには、守るべき人がいて、守りたい笑顔があります。その時がどんな過酷な状況になったとしても、私たちは、大切な人とともに、何としても生き抜かなければなりません。

そのために今、私たちは、「いのちの意味を考える」「知っていれば守れるいのちがある」「知れば、未来は変えられる」をコンセプトに、人間が本来持つ「いのちを守る行動」を、心に響く言葉とアクションで、「自分ゴト」に取り戻していきます。

「あの日の教え」を、あなたと、あなたの大切な人の「いのちを守る学び」に。

まずは、あの日起こったことを知り、自分の心で感じる。そして、今までの防災に関する考え方や方法を根本から見直し、内容を進化させ、たくさんの人たちの想いと協力により、大きく成長させること。一人でも多くの人の意識変容と、具体的なアクションを促すことで、いざという時に、自分で考え、行動できる人を増やし、次に来る災害の時に、一つでも多くのいのちを守りたいと思っています。

【SSPJご提供コンテンツについて】

想定外を生き抜くために、一番必要なこと。それは「自分の頭で考え、行動する」ということです。一見簡単そうですが、マニュアルや想定内の世界で生きている私たち現代人にとって、これはとても難しいことです。

私たちがご提供する各種コンテンツは、自分の経験や価値観、「普通こうだろう」という思い込み、「自分だけは大丈夫」という心理状態を根底から揺さぶり、いざ思いもかけない災害に遭遇しても、いのちを守れる正しい行動がとれる人間を育てることを目的にしています。

以下は例です。企画の概要、運営方法、費用、実際の導入などにつきましては、実施ご希望団体様の規模やご希望に合わせて、コーディネートさせていただきます。ホームページよりお問い合わせください。

★一般向け

未来のいのちを守る防災講座／ディスカッション「あの日を語ろう、未来を語ろう」

『東北の大震災で得た学びを、未来のいのちを守るための教育』にする活動。企業様のご寄付により、授業に取り入れたい学校や、防災教育をされたい団体に、東日本大震災体験者、生活に根差したリアルな防災活動を実施している者など、多彩な経歴を持つ「SSPJ特別講師」を無償で派遣。体験したからこそその知恵や学びを基にした講演や、生活に密着した分かりやすい内容で、防災意識を芽生えさせ、アクションに直結させる、ユニークなワークショップを実施しています。東北の高校生と語るディスカッション「あの日を語ろう、未来を語ろう」も行っています。



★小中高校生向け

講演「小さな命の意味を考える」／ワークショップ「意思決定の難しさと大切さ」

生徒集会あるいは授業参観等で保護者と一緒に聞く「命の大切さ」についての講演会やロールプレイ等を通して、意思決定や防災について考えるワークショップ型の授業を実施しています。大川小学校の子どもと同世代ということもあり、児童生徒の皆さんは真剣に取り組み、多くの大切な気づきが生まれています。



集団での意思決定のむかかしさをロールプレイで再認識しました。あの現場のきんきょう感の中で自分は正しい判断が出来るという自信がありません。意見を伝えるために命を優先するということが第一だなとも感じました。

人の多さと信頼の大きさは比例する。
日常の中で信頼関係をきずく

皆で生きようというねがいの大切。

命を助けることと支えてくれる人々を大切にしよう。みんなが力を合わせて生きていきました。
自分達が今存在していると言う事には意味があるに感謝を受けました。

★乳幼児ママ向け

防災ママカフェ（ワークショップ）「子どものいのちを守れるママになろう」

「乳幼児を育むママは、いのちを守る防災の最前線！」大震災を経験した東北ママ、熊本ママの体験と、ママとして知っておきたい防災の知恵が詰まった「防災ブック」を使い、ママ講師が楽しくってためになる防災ママカフェ（ワークショップ）を実施。震災直後～震災後におこること、ママがしておくべきアクションを紹介。子どもと一緒に、非常食試作&試食も行います。ママがママに伝えるからこそそのリアリティと共感が、防災意識を無理なく目覚めさせ、自分なりのアクションを起こすパワーが話題に。テレビや新聞等メディアにも多数取り上げられ、全国に広がっています。





「小さな命の意味を考える会」は、大川小学校で起きたことについての検証、伝承、そして想いを多くの方と共有することを目的とした任意団体です。本団体の活動を広めるため、みなさまからのご寄付（1口200円～）を受け付けております。ご寄付は、本冊子の印刷費や、講演に関して全国に講師を派遣する際の費用補助などに活用させていただきます。

■スマートサプライで支援するには
WEBサイト <https://smart-supply.org/#/sspj>



■口座へのお振込は
りそな銀行 神楽坂支店 普1649694
一般社団法人 Smart Survival Project 代表理事 西條剛央
(イッパンシャダンハウジン スマートサバイバープロジェクト
ダイヒョウリジ サイジョウタケオ)

2015年3月14日 初版発行 / 2016年8月1日 第二版発行
編集・発行 スマートサバイバープロジェクト / 小さな命の意味を考える会